Osaka University Knowledge Archive

Title	本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2020, 67, p. 76-77
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75584
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

本研究会の活動（2019年4月～2020年3月）

第297回4月27日（土）
記紀に描かれた兄弟
―〈末子成功譚について〉―　川上莉奈
『徒然草』に描かれた「入道」について　徐　永林
賢木巻・野宮のわかれ再考
―典拠としての『うつほ物語』俊蔭巻―　後藤　京

第298回6月15日（土）
『うつほ物語』における賜姓源氏について　中村麻耶
藤原行成和歌不得手に関する文章の考察
―『枕草子』「職の御曹司の西面の立蔀のもとにて」段における〈歌〉を〈うたふ〉という表現について―　中山紗恵
『蜻蛉日記』上巻の長歌の考察　福山美都

第299回7月27日（土）
異類婚姻譚における『木幡狐』
―和歌素材としての異類とお伽草子―　大野暖奈
『文集百首』における定家の詠歌方法について
―句題の一部の文字を和歌に詠まない場合に注目して―　黄　夢鴿
貫之集における「すれる衣」の一側面　蒲　姣艶

第300回9月21日（土）
光源氏論
―その「心長さ」の両義性をめぐって―　後藤　京
深川本狭衣物語（巻一）から本文研究を見つめなおす　小林理正

第300回記念イベント
▼テーマ：院生時代とキャリア形成を振り返る
○奈良大学　松本　大
○就実大学　瓦井裕子
○天理大学附属天理図書館　宮川真弥

第301回10月26日（土）
『万葉集』巻一・一四七番歌の解釈史―近世から現代まで―　川上莉奈
古今集撰者時代における「六月祓」の一考察　蒲　姣艶

第302回11月23日（土）
藤原為家の「越」字用法　石村小春
接続助詞「ものを」による複文化の過程について　百瀬みのり

第303回12月22日（土）

伝藤原家隆筆大六半切『古今和歌集』について　寺田　伝

陽明文庫本源氏物語の表現世界とその摂取歌　瓦井裕子

第304回2月15日（土）

「荒れたる宿」表現の虚構性―平安時代前期の和歌を中心に―　百井　花

天稚御子降下条のヴァリエーション

―鎌倉写本の狭衣物語本文小考―　小林理正

第305回3月28日（土）

大江斉光考　後藤　京

『源氏物語詞散』の紹介

―詞としての『源氏物語』享受の一端―　松本　大